

Housing Design

Kobe Shoin Women's University



ファッション・ハウジングデザイン学科
ハウジングデザイン作品集 vol.3

Housing Design

ハウジングデザイン作品集 vol.3

神戸松蔭女子学院大学 人間科学部
ファッション・ハウジングデザイン学科

ハウジングデザイン作品集 vol.3 の発行について

わたしたちのファッション・ハウジングデザイン学科は 2008 年に誕生しました。学科の半分を占めるハウジングデザイン領域では、住居学・建築学をひとつと修めるカリキュラムを用意しています。2014 年春に 3 度目の卒業生を出した時点で、優秀なものを集めた作品集をはじめて作りました。2015 年度には第 2 集を作成しました。ともに領域で行っている教育研究の内容がわかりやすいと好評でした。今回は 2015 年度の作品を中心に第 3 集を編んでみました。

卒業研究としての作品をはじめ、各学年における演習・実習でのヴィジュアルな成果物を中心に構成しています。1 年生からいくつかの基礎的なデザインの課題にとりくみ、2 年生・3 年生で独立住宅・インテリアデザイン・集合住宅の課題をこなします。

冊子の後半は卒業研究やプロジェクトの紹介です。さまざまなタイプの課題に挑みました。卒業研究としては、本格的な建築設計にとりくむものをはじめ、照明を設計し現物を作成するものや、研究的な写真集を作成したりもしています。

カリキュラムや教員の構成のかんたんな紹介も付け加えておきます。感想や批評があれば、ぜひお寄せください。

2016.10

ハウジングデザイン領域代表

教授 中林 浩

Contents

1st year	1年生作品	5
	「イメージリテラシーⅠ・Ⅱ」 4つの授業紹介		
2nd year	2年生作品	10
	「六甲大月台の住宅」 6題		
	「芦屋に建つ併用住宅」3題		
3rd year	3年生作品	17
	「店舗併用住宅のリノベーション」4題		
	「ガーデニング論」2題		
	「インテリアコーディネート演習」紹介		
4th year	4年生作品	25
	「卒業研究」		
Project	プロジェクト作品	44
	ハウジングデザインの学び紹介	56
	卒業生／教員紹介	58

1st year

1年生作品

前期 イメージリテラシーⅠ
(生活アート実習)

後期 イメージリテラシーⅡ
(デザインスキル実習)

「生活アート実習」では、身近な生活雑貨やアートの制作を通して、感性と基礎的な造形力を養います。「デザインスキル実習」では、模型制作により様々な空間を表現する課題や、初歩的なインテリアデザイン課題に取り組みます。



ものに対する想いを育む

イメージリテラシー I (生活アート実習)

デザインスキル能力向上の一部として、ごく身近なファッションやインテリア関連小物の制作を行います。イメージやコンセプトを具体的な物として実現するプロセスに習熟すると同時に、実際に制作することを通して“もの”あるいは素材に対する想いを育むことを目的としています。



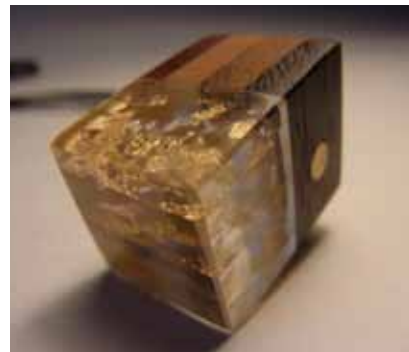
畑の横の坂道を上ると星空の下にお祖父ちゃんの家がペンダント。



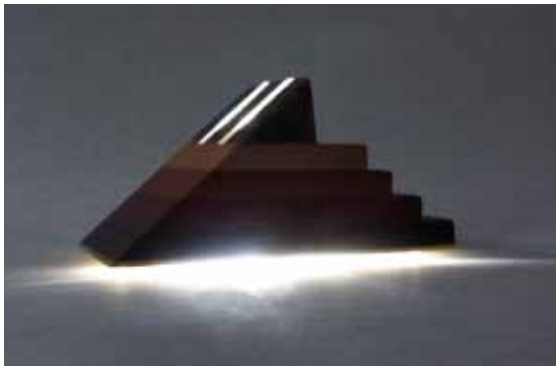
6本足で駆け巡ります。



茶室如庵の平面図ペンダント、渋い…！



秘技、金箔散らし！



LED照明を組み込んで、宇宙船着陸！



透明アクリルに光を籠めて



細密！和文様片身替わり切絵透明額付。

アートから学ぶ、イメージする イメージリテラシー I (生活アート実習)

アートやデザインはどのような思考によって表現されているのか。その表現の核となるイメージを見出し展開する具体的な表現方法を実制作を通して学びます。簡単なデッサンから始め、基礎的な絵画技法を各テーマと共に習得してゆき、最終課題の自由制作へ向けて授業は進んでいきます。主に絵画やスケッチ制作を基本としていますが、着想の仕方や構想の展開は絵画だけで成されるものではなく、それぞれに合った表現形態の可能性を模索します。



写真を折って、アタリをつけながら人物画をデッサン



折り鶴を使ったアート



ファンデーションと口紅で塗る。化粧品好き！



判子で B2 サイズのパネルを埋める



パステルで彩色、緑が好き！



木をイメージして布などでコラージュ

生活空間を立体的に把握する

イメージリテラシーII（デザインスキル実習）

デザイン関連の基礎学習として、模型制作は重要で、特にハウジング分野では習熟すべき不可欠のスキルです。本実習では2年次以降の多様な模型制作のスタートとして、またパソコンによるCGなどでは表現しにくい空間イメージ把握を目的に、初歩的な模型制作を行います。実習内容は、模型制作の意味の解説と材料や実際の模型作品の紹介から始めて、インテリアと家具模型、住居、店舗などを紙やスチレンボードなどの材料で制作していきます。



インテリアデザインの基礎を学ぶ

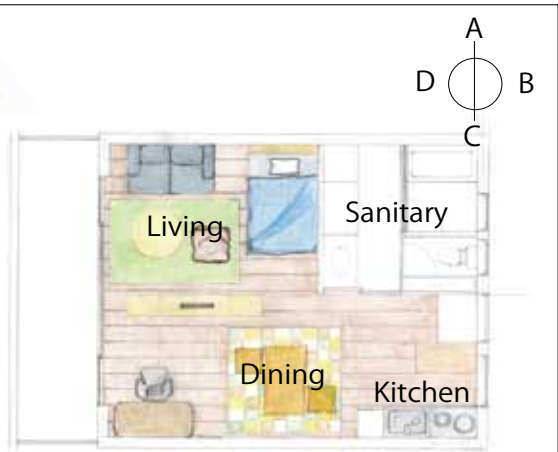
イメージリテラシーII (デザインスキル実習)

デザイナーズチェアなど、優れた作品にふれながら、インテリアデザインの考え方や表現方法の基礎を身につけます。基本的な図法を用いたドローイングや、平面図、展開図などの2次元図法、アクソメやパースなどの3次元図法を学びます。また様々なインテリアエレメントについてリサーチし、マンション住戸での一人暮らしという設定で、インテリア・コーディネートし、表現する課題に取り組みます。



デザイナーズチェアのドローイング

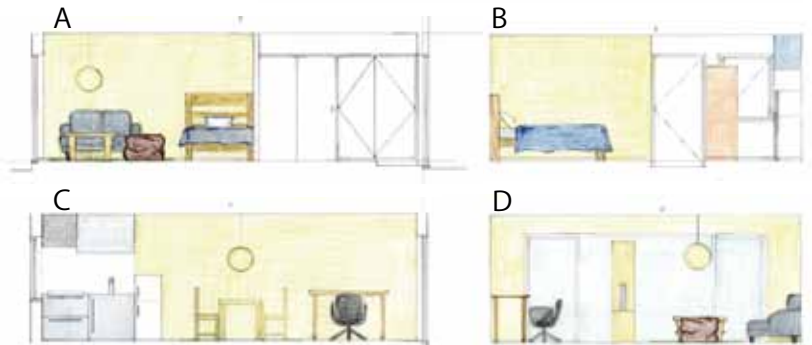
《 The warm room in nature 》 一人暮らしのインテリア 1158034：徳永志帆



コンセプトは、「自然の中にあるような温かさを感じられる部屋」なので、家具は木目調、ラグは緑系のものを選び自然の温かさを感じられる部屋に仕上げた。

木目調の家具は、長く使用することによって味が出てくることも魅力だ。

大きめのダイニングテーブルを置き、友達を呼んで一緒に御飯を食べるなど、空間をより楽しみたい。



2nd year

2年生作品

前期 ハウジングデザイン実習Ⅰ A・Ⅰ B

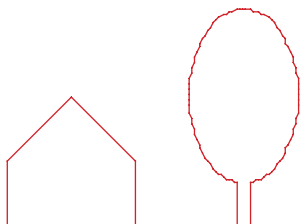
「大月台の住宅」

住宅設計の考え方と設計製図の基礎—手描きとCADによる図面表現、模型表現を学ぶこと—からはじまり、六甲山麓の眺望のよい住宅地に敷地を設定。各自の構想に基づき、初めての住宅設計課題に取り組みました。

後期 ハウジングデザイン実習Ⅱ A・Ⅱ B

「芦屋の併用住宅」

芦屋川周辺に敷地候補地を2ヶ所設定。地域性を読み解きながら、住宅に併設される店舗やオフィス、教室等の機能とライフスタイルを各自が設定。いずれかの敷地を選び、建築とインテリアデザインの計画に取り組みました。

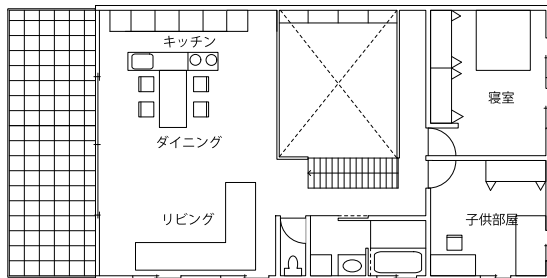




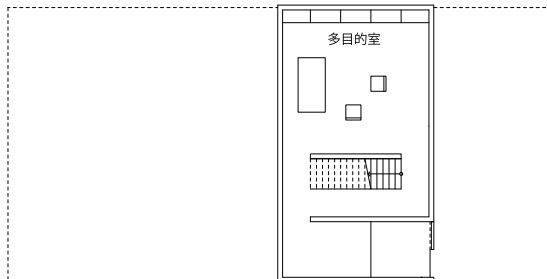
OUTLOOK-HOUSE

藤井 香帆

この家は、子供1人と夫婦2人の3人暮らしです。1階は多目的室で、1人1人のゆっくりした空間をだすよう広めに作りました。2階は、主に生活する部屋にしました。LDKを広くとり、窓を大きくしたことで日の光が入りやすくし、家の中からも眺望できるようにしました。



2F 平面図



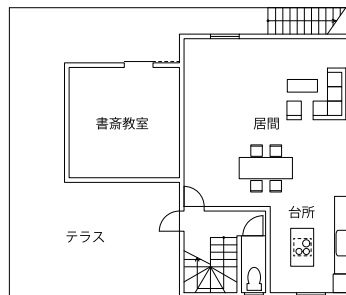
1F 平面図



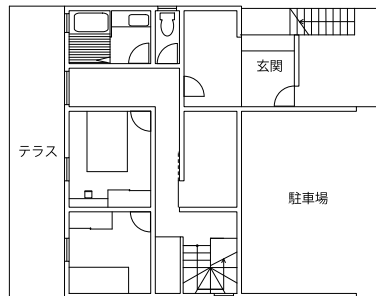
calligraphy house

西口 実亜

この家は家族三人暮らしという設定です。大きなリビングは、家族でテレビを見ながらゆっくり過ごすために間取りを大きくしました。左側の二階部分は、コンクリートの重厚感を現しています。右の階段は書道教室へのアプローチです。書道教室は少し凹んでいることにより、コンクリート打ち放しの壁から一気に全面ガラス張りの書道教室に繋がることにより、驚きと開放感が生まれるような設計にしました。



2F 平面図



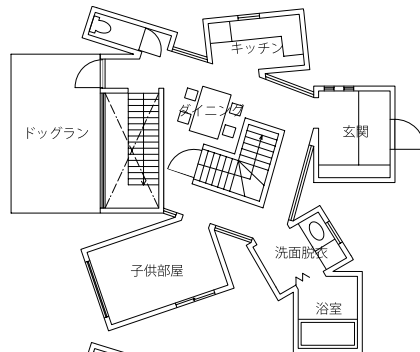
1F 平面図



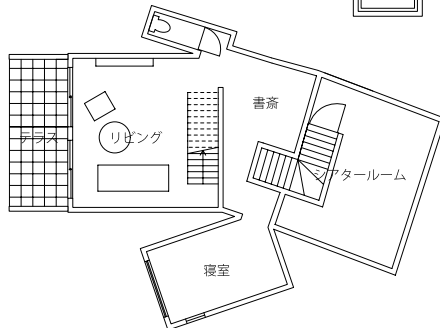
Unevenness House

藤光 美咲

家族構成は夫婦2人、子供1人、大型犬1匹。この家は形や高さの異なる四角形が集まってできた家です。家族が集まる場所には、大きな窓を取り、明るくて開放的な空間にしました。一階の中央にある階段は扉のない部屋の間仕切りとしても機能します。リビングとダイニングの階層は違いますが、吹き抜けで繋がっており別々の場所においても一体感を感じることができる工夫をしました。



1F 平面図



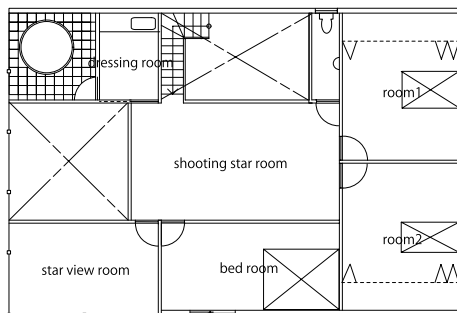
地下1F 平面図



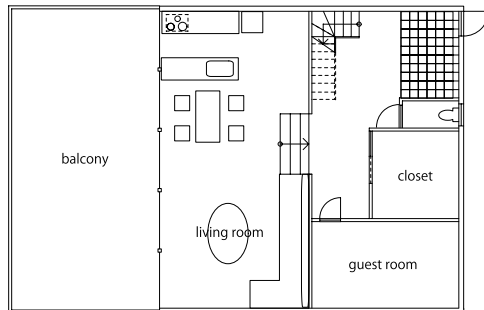
別荘~星空をそえて。

樽井 香

家族構成は夫婦と子供2人の4人家族です。星の好きな家族なので、星を眺めながら心が落ち着く場所を2つ作りました。SHOOTING STAR ROOMはフリースペースとなっており、みんなで寝転がって星を見ることができます。STAR VIEW ROOMは望遠鏡やハンモックなどを置いて天体観測をすることができます。また、吹き抜けを2箇所設けて、開放感のある空間を作りました。



2F plan



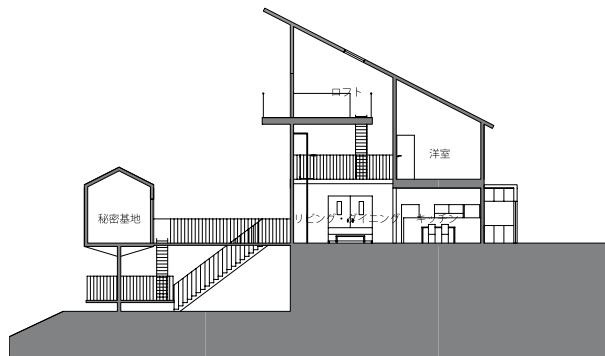
1F plan



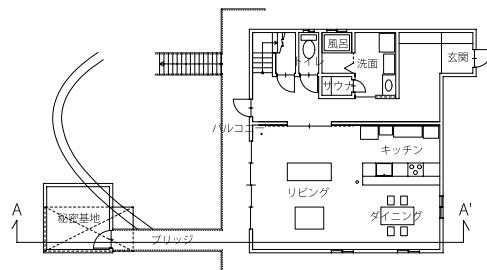
Athletic house

川口 菜月

この家には4人家族が住んでいます。1階は、玄関・LDK・サニタリなどを中心に設け、また、離れに秘密基地を設けました。2階には、部屋が2つあり、ロフトに続く梯子があります。ロフトに上がると、すぐ右手には吹抜に網が張っており、幅の広いハンモックのようなスペースになっていて、昼寝には最適です。ロフトの上には大きな天窗もあるため、夜になると天体観測もできます。



AA1 断面図



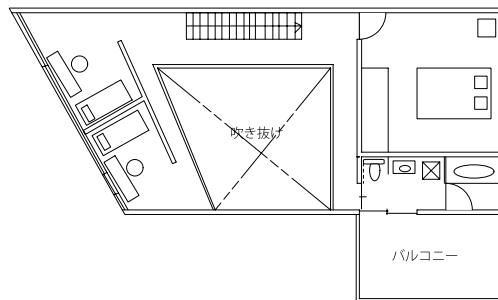
1F 平面図



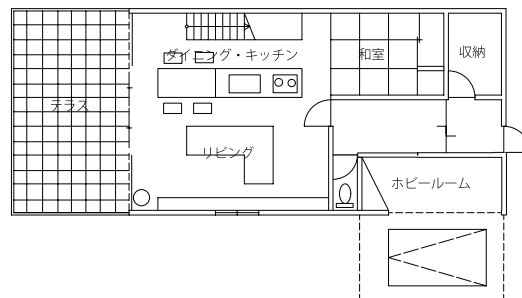
Spacious house

濱畑 美紀

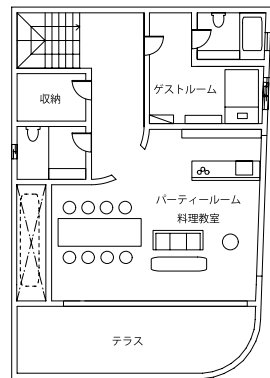
この家は子供2人、お父さん、お母さんの家族4人という設定です。子供は幼いため、親の声が全て届くように吹き抜けを作り広々とした空間にしました。また、家族みんながゆっくりくつろげて、子供が大人になっても仲良く暮らせるようにと考え、子供部屋を設けずにオープンにし、1階テラスには大きなガラスを設けて日当たりがよく明るい家になるように配慮しました。



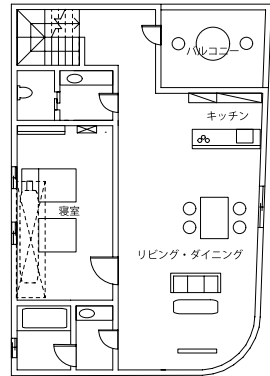
2F 平面図



1F 平面図



3階 平面図

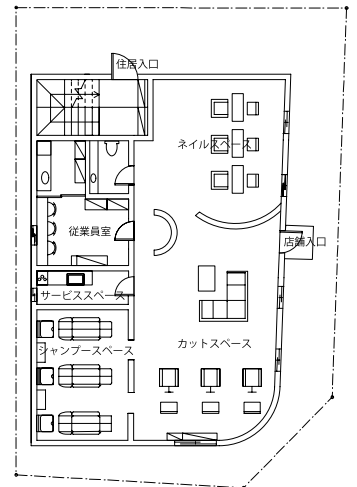


2階 平面図

elegance

真田 理沙

芦屋の上品な街並みにビューティーサロンがあったら女子学生や若いOLさん、オシャレなママに需要があると考えて設計した。一階のビューティーサロンは、店舗部分でネイルサロンとヘアサロンのスペースを設け、二・三階は、住宅部分とした。二階は、外の景色がよく見えるようにリビングをつくり、三階は、近隣住民の方と交流できるように料理教室やパーティールームとして開放できる空間をつくった。



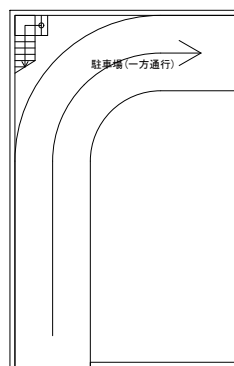
1階 平面図



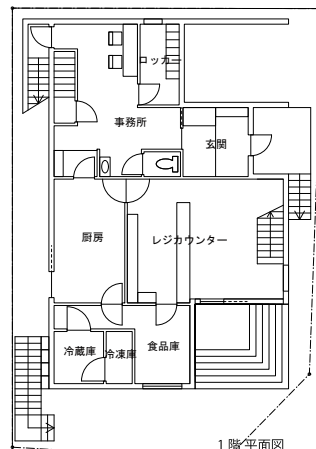
Café under the water

川口 菜月

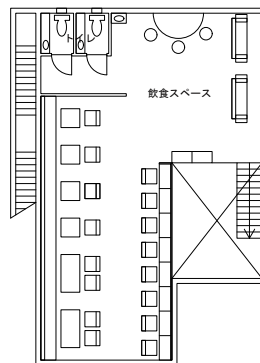
芦屋川沿いに建つ住居とカフェの併用住宅。40代の主婦と大学生の一人娘が暮らしている。一階が事務所と厨房、レジカウンター、二階が飲食スペース、三階が住居スペース。地下には住人のための駐車場がある。2階と3階の間には水空間を設けており、2階の飲食スペースは、水の上から日光が降り注ぐ。店の東側の道路はバスも通る道なので、様々な世代に利用されるよう配慮した。



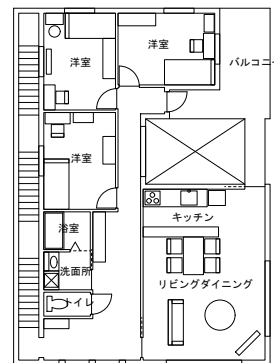
地下駐車場



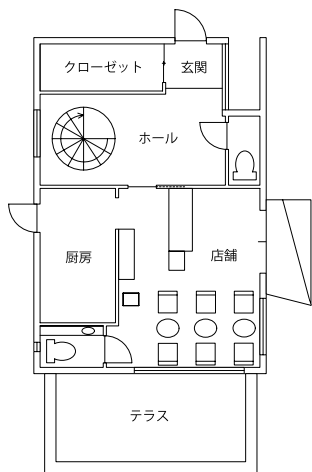
1階平面図



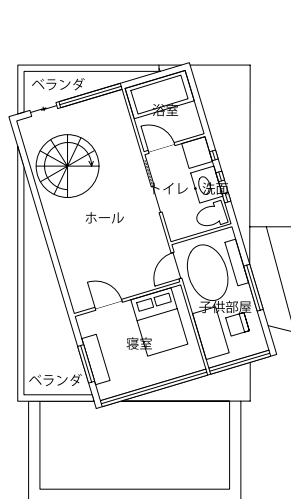
2階平面図



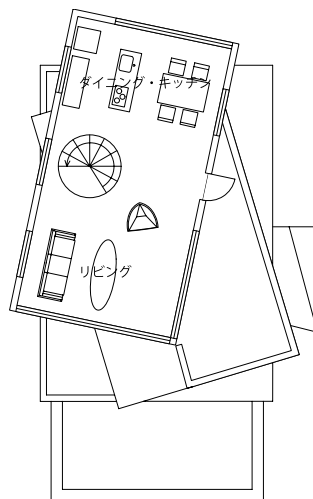
3階平面図



1階平面図



2階平面図



3階平面図

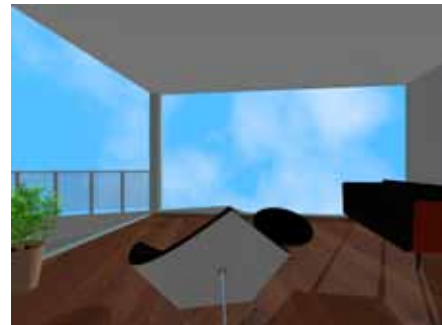


敷地図

幸せ溢れるケーキ屋さん

藤光 美咲

夫婦二人で営む小さなケーキ屋さん。店舗には小スペースを設けており、ケーキを食べることができる。また、目の前には公園があるので遊んだあとに気軽にケーキを食べることができるようにテラスも完備した。住居スペースは、山と海、町並みを色々な角度から眺められるように、2階と3階の向きをずらした。特に、3階からの眺望は良く、ベランダの柵が邪魔にならないようにガラスにした。



3rd year

3年生作品

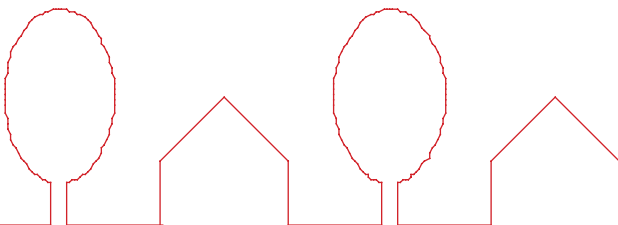
前期 ハウジングデザイン実習Ⅲ A・Ⅲ B

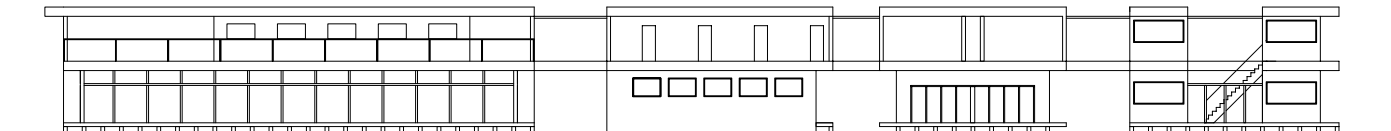
「六甲八幡神社境内周辺の集合住宅／施設」

六甲八幡神社境内周辺を題材に、地域性を読み解き、環境を生かした集合住宅や商業施設など、近隣空間のよりよいあり方を提案する課題に取り組みました。

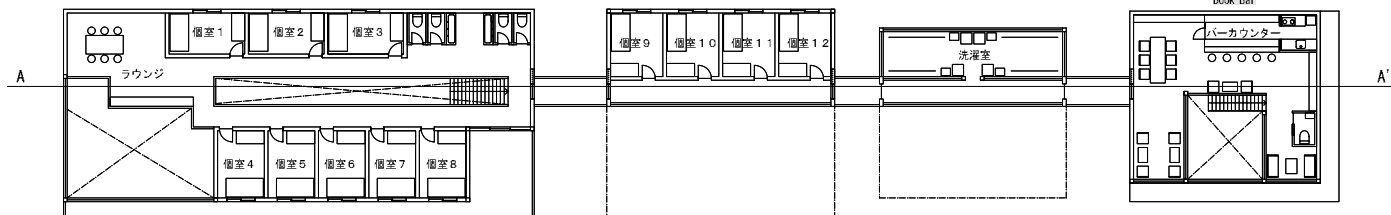
後期 ガーデニング論

インテリアコーディネート演習

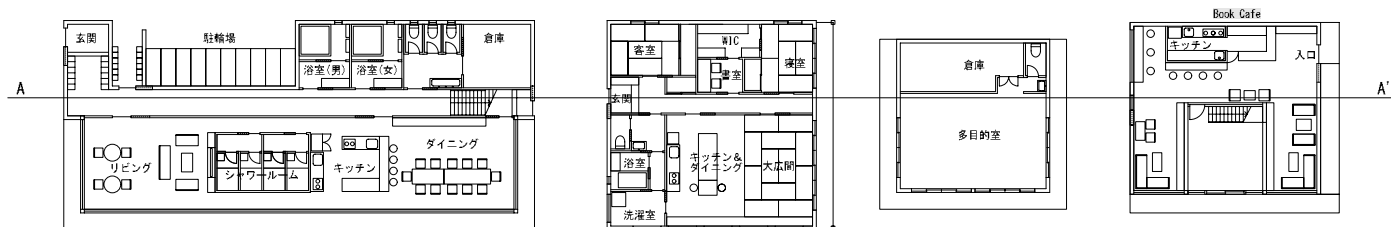




立面図 1/100



2F 平面図 1/100

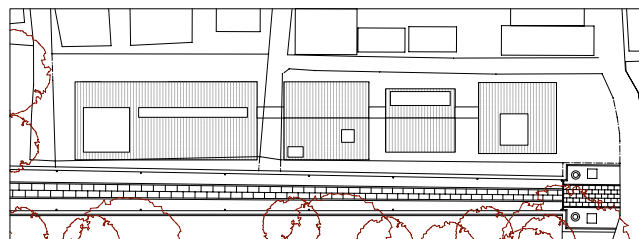


1F 平面図 1/100

Rokkross ~老若男女が交わる場~

山田 幸奈

この六甲という土地には、一人暮らしをしている学生や社会人が多くいます。そんな一人暮らしをしている人たちに家族のような友達のような存在を作り、寂しい思いをさせたくない、また、年齢や性別の異なる人たちがお互いに良い刺激を与え合う場ができれば、という夫婦の思いのもと、つくられた単身者向けのソーシャルアパートメントです。鳥居近くには、入居者や近隣に住む学生により経営され、夫婦の趣味である読書の本がずらりと並んだ、Book Cafe、BookBarがあります。その横には誰にでも開放している多目的室があります。



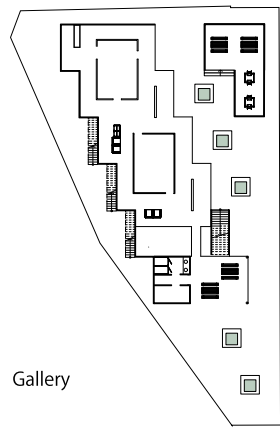
配置図



There is no gap

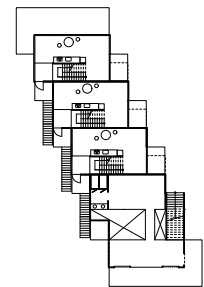
吉田 朋可

喫茶室のあるギャラリーと三部屋のゲストハウスがある集合住宅を設計しました。一階のギャラリーは、誰でも気軽に入れるようにしました。また、道路側にギャラリーの入口、裏側にゲストハウスの入口を設けることによって、ギャラリーへ行く人と、ゲストハウスへ行く人の流れを分けました。二階には、神社に参拝しに来た人や、散歩をしている人などギャラリーにはいらなくても、直接外階段から入れるように、外に階段を作りました。ゲストハウスはメゾネットにして、どの部屋にも正面と裏にテラスをつくり、どちらの景色も楽しめるようにしました。



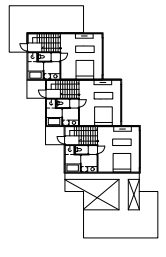
Gallery

1F PLAN



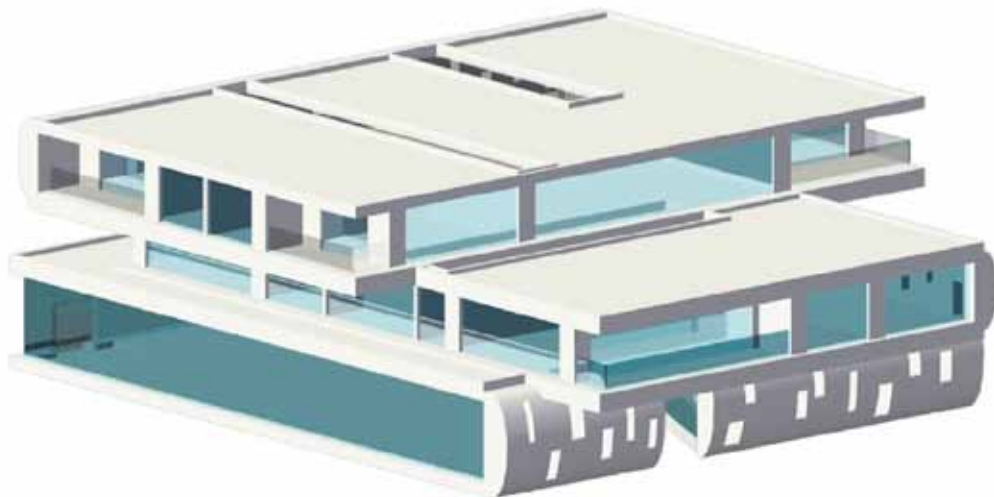
Coffee shop
Guest room

2F PLAN



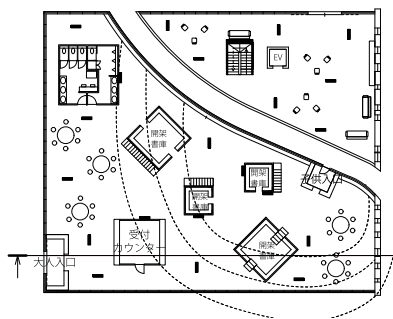
Guest room

3F PLAN

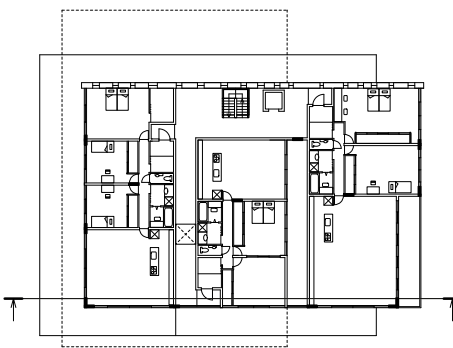


実際に本を積み重ねて外観を検討した。

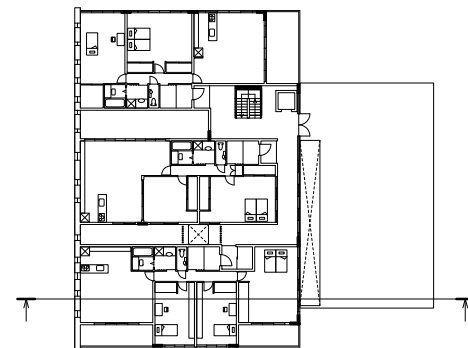
模型写真



1F 平面図



2F 平面図

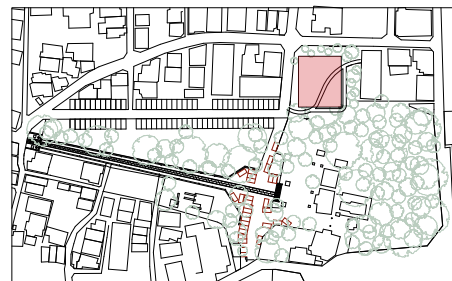


3F 平面図

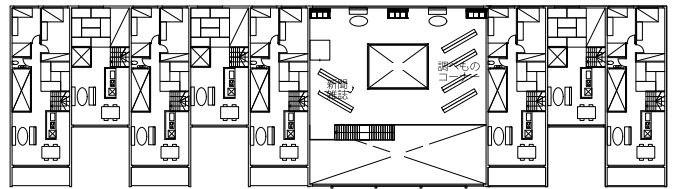
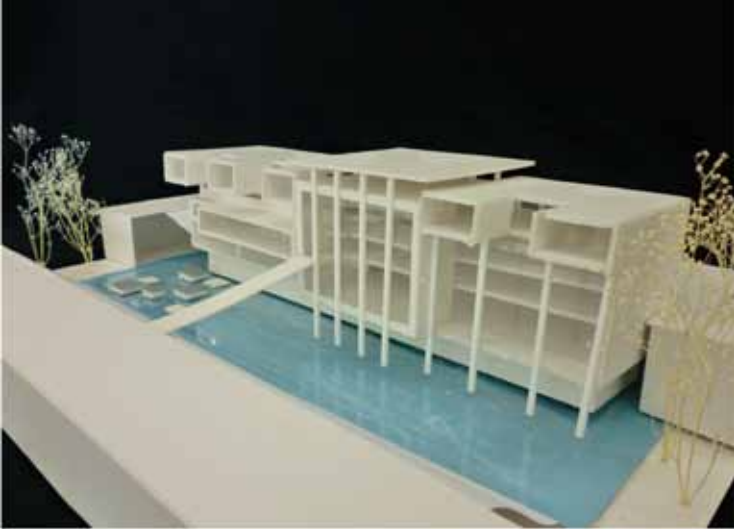
Stacking-Story

太田 ともえ

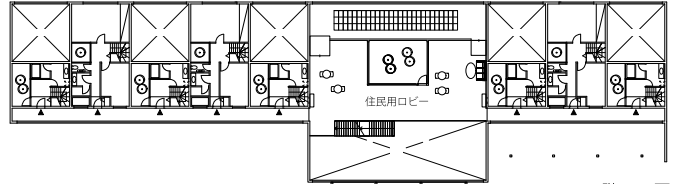
六甲八幡神社のとなりの静かな環境なので図書館がふさわしいと考えました。そこで、3冊の本を積み重ねたような建物にしました。絵本などの児童書を取り揃えたこども専用の図書館と子育て世代の住宅スペースになっています。1st Story (1階) はこども図書館。そして小道を挟んで、住居部分のエントランスになっています。小路を設けたのは課題敷地全体に繋がりを持たせるためです。2nd Story(2階) は、これから出産の予定のある夫婦や乳児のいる家族に住んでもらい、3rd Story(3階) は、幼児から小学校低学年ぐらいの子どもがいる世帯を対象に考えました



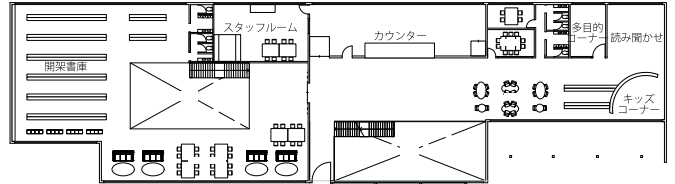
敷地図



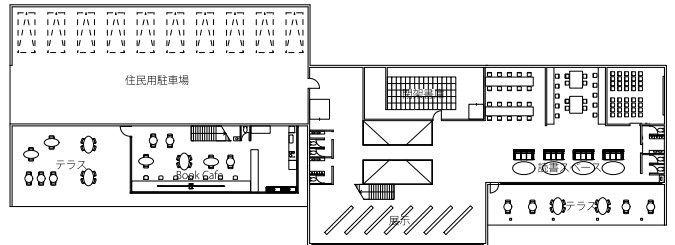
3階平面図



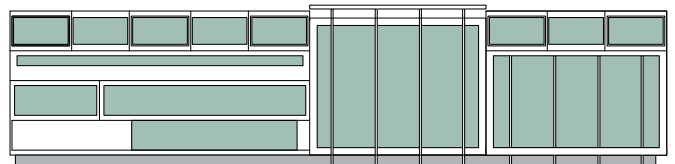
2階平面図



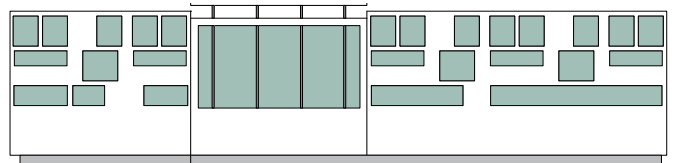
1階平面図



地下階平面図



西側立面図



東側立面図

心楽絆生（シンラバンショウ）

太田 美菜子

心が安らげる、心から楽しめる、絆を大切に生きていくという思いから森羅万象を読み替えて心楽絆生としました。森羅とは、樹木が限りなく茂り並ぶという意味で、万象とは、宇宙空間や時間と空間の広がりという意味があります。樹木が限りなく茂り並ぶという意味は、八幡神社を想像させます。今回は心地いい時間、ずっといたいと思える空間を自然の中で過ごすといったことを意識してつくり、水辺の上に建て、テラスを設けて窓をたくさんつくることで水を身近に感じられる解放感のある空間にしました。



Concept

毎日の生活をよりハッピーに！をテーマにデザインしました。まずテーマカラーは以下の4色。夏の晴れた日の入道雲のようなはっと明るい白色(家の外壁もこの色)。心も身体も落ち着き休まるような深い緑色。自然に還るような力強い土色。そして、光、希望を意味する黄色(ここでは山吹色に近い落ち着いた色)。以上の4色をメインに草花やエクステリアを考えます。



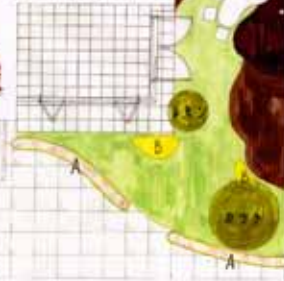
Terrace

一部、50cmの高さがあり、ステージのようになっている。ステージをベンチ代わりにして座ることもできる。テラスの板にはダークブラウンの木材とそれよりも少し明るいブラウンを交互に配置する。凹凸をしたり、お茶したり、パラソルやビニールプール等、季節に応じて用意してもよい。人工芝も使用。



Herb

紅茶が好きな奥さんのために、ハーブやストロベリーなど植えて、オリジナルブレンドティーを作れるようにした。そばにはレモンも植える。主にプランターでの栽培スペース。



Exterior



エクステリアの一つに木の柱の柱をした棒を4か所に設置(右側テラス付近のみ)。草花は風通しをよすときの気配にする。木の柱に風通しをよすの草花を少し植えていた。友人とのガーデンパーティーをするときはゲストのバッグやコートをかけるのに使う。扉にはお風呂に入りのスタートを合わせてロマンチックな雰囲気に。スタートはフロアライトにしてもよい。



Entrance

自転車も1台所有しているとのことなので、玄関のすぐ横にかんたんな屋根付き駐輪場を設置。また屋根大きくつけることで車の乗り降りも濡れずにできる(雨干すの人はごめんなさい)。西日が強いと思われるので屋根によって少し影になってくれればよい。玄関は扉の裏と対照的に白色のタイルを使用。玄関前には目隠ししてメインツリーのカツラを株立ちにして植え付けた。駐車場と庭の境目には花壇を設ける。植え付ける花は次のページに詳しく記しているが、日陰りの強い植栽ということもあり、乾いた土を好む植物を使用する。色は白色で統一。一言で白と言っても真中が黄色いものも、葉が赤いものなど種々ある。扉にはいつてすぐのところには黄色いフクジュソウを。来客を知らせる花。香が来る喜びを感じられる。



HAPPY IN YOUR LIFE

堀内 佳奈子

毎日の生活をハッピーに！をテーマにデザインしました。まず、テーマカラーを4色に決めました。夏の晴れた日の入道雲のようなはっと明るい白色(家の外壁もこの色)。心も身体も落ち着き休まるような深い緑色。自然に還るような力強い土色。そして、光、希望を意味する黄色(ここでは山吹色に近い落ち着いた色)。以上の4色をメインに草花やエクステリアを考えました。



Main Tree & Pond

このプランターには、山吹色、黄色、白、緑、茶、黒の6色をメインカラーとして、それぞれに合わせた植物を植える。また、このプランターには、山吹色、黄色、白、緑、茶、黒の6色をメインカラーとして、それぞれに合わせた植物を植える。また、このプランターには、山吹色、黄色、白、緑、茶、黒の6色をメインカラーとして、それぞれに合わせた植物を植える。

Flowers





Aquatic garden

太田 美奈子

私が庭について思うことは家の中から見える庭も内観の一つとして見たいことと、この庭に一歩入ると安らげるような癒しの空間・ガーデニングにしたいことでした。そこで、部屋の窓のどこから見て水が見えるガーデニングをつくりました。水は全てつながっていて、タイルや花壇が水面に浮かんでいるようなお庭で、水の上が歩けるガーデニングにしました。橋や小石、岩などの和の要素とテラスやタイルなどの洋の要素を取り入れて和洋折衷を意識しました。

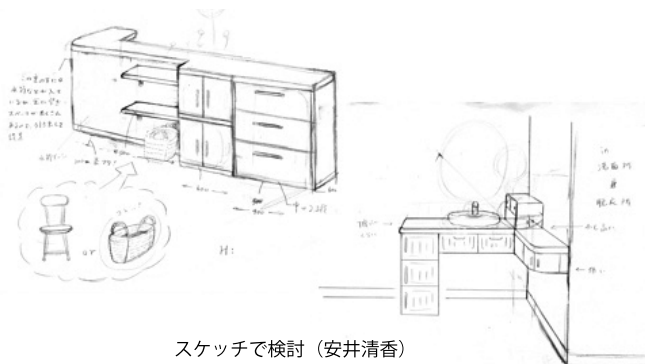




課題テーマ	シンプル・デコタイプ	クライアントの要望	デザインコンセプト
対象建物	課題戸建てプラン	サンタリー空間	収納を増やしてほしい 化粧が出来るところをつくってほしい
家族構成	夫婦+子ども	キッチン・ダイニング空間	作業スペースを広くしたい 食器棚を増やしたい
家族のライフスタイル	夫は会社員で、妻は専業主婦で働く時間が長い、子どもは女の子でまだ小さいので第二子。		シンプルでスッキリしているけど、明るくて可愛く雰囲気。料理するのが楽しくなるような空間。
インテリアコーディネイト演習			[1138057] [吉田 朋可]

インテリアコーディネイト演習

キッチンやサンタリー（トイレ・浴室・洗面）のインテリアを細やかに考える課題に取り組みます。住宅設備や建材のショールームを見学し、実際の様々なモノにふれながら知識を深め、具体的な住宅や住まい手の家族像、要望などを設定。それに対するリフォーム提案をまとめます。コンセプトに沿って、色彩やデザインテイストが全体に調和するように、インテリアコーディネイトを考えます。衛生機器や照明、仕上げ材を選定してリスト化し、また平面詳細図や展開図を正確に描き、プレゼンテーションボードにまとめます。



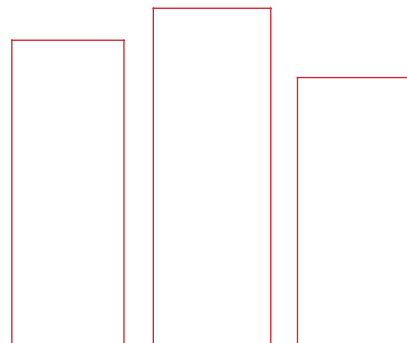
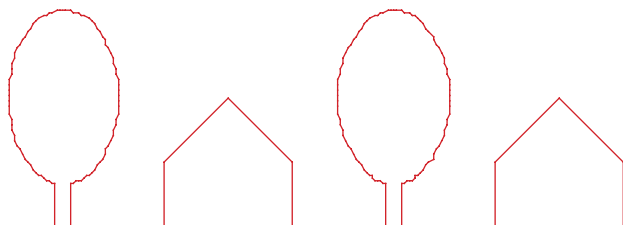
スケッチで検討（安井清香）

4th year

4 年 生 作 品

卒業研究

4年間の学びの総仕上げとして、各自のテーマを設定して深く研究し、作品制作または論文にまとめます。ハウジングデザイン領域には3つのゼミがあり、まちづくり、住居全般、インテリアデザインと幅広い対象の中から、各自の興味に従い、テーマを見いだして取り組みました。





伝統的の家屋で供儀のために用意されている水

トラジャ族はインドネシアのスラウェシ島の南スラウェシ州と西スラウェシ州の間に住む山岳民族である。トラジャの見どころは、トラジャ族の葬式である葬儀の見物や伝統的住居であるトンコナンの並ぶ集落景観、棚田などの見物などを含めた雄大な自然である。



民族観光を問う —トラジャの例を中心に—

柳瀬 梨央

トラジャ地方はこれから注目されていくであろう観光地であり、それゆえどんどん観光地化されてトラジャ族の民族観光の対象として独特の景観や生活様式・伝統文化が損なわれていくおそれがあるため、本研究ではほかの観光地化してしまった民族を例にもふれつつ、トラジャ地方の景観や伝統を守る観光とはトラジャの現状を整理したうえで、どうあるべきか考えるのが目的である。

葬儀は賑々しいほどよいとされているため観光客に対しても寛大で、村人たちと同じようにお茶やコーヒー、お菓子や食事までも振る舞ってくれる。しかし、観光客も葬儀を見学させてもらっているというよりも礼儀として葬儀に参列する際は、供え物や供儀をさばいてくれる男性のためにタバコを香典としてもっていく必要がある。

民族観光

「土着の人々の習慣が風変わりで面白い (quaint) ので世間に売り込まれているような観光の形態である」という。目的地における行動には「地元民の家や村への訪問、舞踊・儀式の見物、素朴な工芸品や骨董品の買ひ物などが含まれる (バーレン 1999)。

観光地化

観光地として多くの観光客を見込もうと、やみくもに道路を拡げたり、観光施設を建設しようとする。観光地化は一時的に経済面で潤うかもしれないが、地域の景観破壊や自然破壊につながりかねない。



供儀のために用意されている水牛

観光客は風変わりなモノを求めすぎる傾向がある。実際に観光客が“盛大なお葬式”（水牛を多く供儀にする葬式）を求めるため、身分階層によって定められたに基づいて供儀される頭数が規定されているにもかかわらず、その規定を超える水牛を生贄とする葬式を行う家族もでている。このような行為はまがいものの行事に変質される恐れがある。



タウタウ人形を制作・販売している店



岩壁に並ぶタウタウ人形（レモ村）



洗練された空間

人間が作り出すものは特定の目的を持ち、それに適うようデザイナー（設計者）の手によって計画されるのです。そのつど、設計者は美意識を投入します。これが洗練です



屋内と屋外をうまくつなげる

「オシャレ」の構造 おもに飲食店の室内空間を題材に 片山 夏実

個人差もあるのですが、「オシャレ」と感じさせるには秘密があり、共通の要素があるはず。それをできるだけ言語化してみることにしました。成金趣味ではない、洗練されたデザインとはどういうものか、オシャレな空間にはどういう共通性があるか、考えてみました。写真ではオシャレだな、おもしろいなと思った写真をあげています。私がオシャレな空間だと感じ、厳選した飲食店です。

異空間を演出する



Rat Tar Art Bar in Shanghai



自然物を取り入れる

自然は私たちの心をなごませ、暮らしに潤いを与えてくれます。

屋内と屋外の両方をうまく調和させるとおしゃれになります。



人は、食事をしたり、話したり静かに過ごしたりする場所が屋外にも必要である。人は戸外室を必要とします。部分的に囲われた空間で屋外であっても室内と同様に振る舞えるような部屋らしさを構え、日光、風、香り、風そよぐ葉音などの趣きを添えた部屋である。

(アレグサンダー)



キングダムハーツ 空間観



ファンタジー要素が強めなことにより、非日常で描写的だといえる



アサシンクリード 空間観

リアリティ要素が強めなことにより、日常で写真的だといえる

デモンズソウル 空間観



リアリティ強めだが、ファンタジーで非日常で写真的だといえる

海外のアクションRPGでは、背景シーンに日常景観よりもファンタジー要素が強い'城'が多く使用されている。

日本で有名なゲームの景観・共通部分（城）



カービィは背景に城を使用



マリオはコース上で城を使用

日本で有名なゲームの景観・共通部分（自然）



リアリティが売りのPS3のゲームであってもデジタル画で表現されたゲームであっても自然の表現は空間の大部分を占めており、大切にされている。

電子ゲームにみる空間観

小林 さくら

日々、進化を遂げる電子ゲームの世界。世界では、数えきれないほどの電子ゲームが発売されており、その電子ゲームのリアリティには背景が深く関係している。この研究では電子ゲームに出てくる景観の意味を探るとともに、ゲームそれぞれの論理から背景を多様化することによってリアリティを持たすことが可能なのか、ジャンルに相違点が見られるゲームでも背景には共通点があるのかなどの点を、幾つかの電子ゲームを題材に取り上げ調査していく。

魅力ある場所を



小豆島中山千枚田



大阪府千早赤阪村森屋での
ライトアップ

明日香村稲渕の棚田



棚田の魅力を探る

杉山 佐津紀

棚田の形は地域によって異なり、土地が持つ自然の形に合わせて開拓されている。四季それぞれ景観が違って特徴があり美しい。日本の原風景から心地よさや安らぎを与える。しかりながら、労働量はきわめて多くなる。したがって、これを現代社会で維持するために、さまざまな努力がなされている。支援のためのNPOが作られたりして、ライトアップなどのイベントが開催されて利している。フィリピンや中国には世界遺産となっている棚田もある

丹後伊根・舟屋 のある風景

米谷 彩

舟屋は海に面した一階を漁船の格納庫とする、独特に住居の形式である。それが200軒も伊根湾につらなっている。近年は船の大型化によりほとんどそのようには使われていない。舟屋群を保存するためにいろいろな住民と行政の試みが始まっている。2005年には重要伝統的建造物群保存地区となっている。



和カフェとして利用されている例

行く そして 撮る

研究写真帳



神戸市北西部郊外の風景

植村 綾香

大都市郊外はスプロール地域として問題も多いが、おもに農業が営まれてきたことから、魅力ある風物をみいだすことができる。



「一の湯」の前から小川は往来の真ん中をゆるやかに流れ、円山川へ入る。

志賀直哉『城の崎にて』



温泉街の風景の魅力

深澤 知子

本来、温泉の魅力は宿泊場所の外の温泉街の景観にある。近年かならずしもそうっていない温泉地もある。城崎温泉では、外湯巡りを温泉街全体でとりくんでいるため街並みが豊かだ。



動物園の新しい展示法

正木 春菜

近年の動物園では新しい展示法が発達している。京都動物園でも今回の改修で、いろいろの工夫がなされた。動物の習性を見せる行動展示をしている。キリンへの二階からの餌やり、生活が見えるゴリラの家、トラの空中散歩が見どころ。



自動販売機の多彩な展開

近藤 綾香

自動販売機については、さまざまな功罪を指摘することができるが、多様な進化をとげていておもしろい。写真はディスプレイにタッチして商品をご購入する、新しいタイプの自動販売機。実際にタッチパネルで、商品の紹介文を見ることができる。



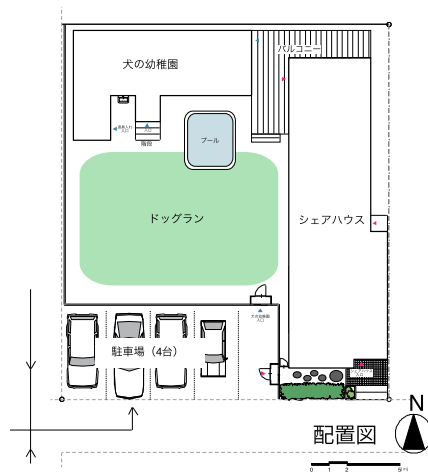
平面図プランの説明、入居ルールなど ...



パンフレット表紙デザイン



犬の幼稚園のご案内、一日のスケジュールの流れなど ...



建築概要

場所：徳島県徳島市
敷地面積：132 m²
延べ面積：137 m²
建築面積：79 m²
1階床面積：77 m²
2階床面積：60 m²



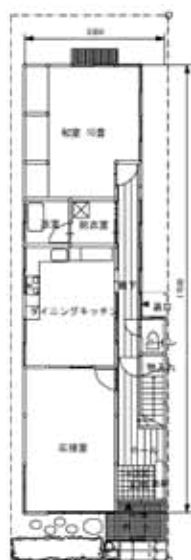
祖父宅を学生向けシェアハウスにリノベーションする 岡田 夕莉乃

現在、木造2階建て住宅で暮らしている81歳の祖父と78歳の祖母。2人が高齢になったことで世代交代のことを話す機会が増えた。また、合理的な利用法について話した際に上がった「シェアハウスとして活用する」という意見を基にリノベーション提案と、祖父母宅に隣接している駐車場にイヌ用施設の提案を行った。

現状の問題点について

- ・ミシミシと音が鳴り凹んでいる箇所があり、無駄なスペースだと感じる廊下
- ・浴室（タイル張り）、脱衣室とも寒い
- ・階段の一段が高く滑りやすい。祖父母は基本的に1階で生活しているため2階は現在3部屋とも物置になっている。築36年が経ち住みにくいと感ずることが増えた

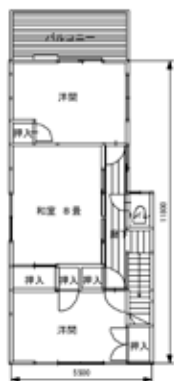
Before 祖父母の住宅



1階平面図

現状の問題点

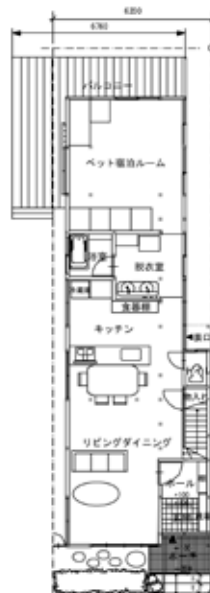
- 寒暖差が激しい。
段差が多くつまづくこともしばしば
- 凹凸があり、歩くとミシミシ音をたてる場所がある
- 廊下は無駄なスペースだと感じる
- 使用しない収納スペースが多い
- 間仕切りをなくしLDKとして利用する



2階平面図

- 現在、2階の3部屋は物置として使われており、1年のうちに数える程しか上がらない。
- 約20年～30年前は母と叔父が洋間を利用、和室を客人や親戚が利用していたそうだ。

After シェアハウス



1階平面図

改善点

- ペットホテルとして利用
※バルコニーで幼稚園とシェアハウスを行き来可能
- 浴室の大きさは変えず、脱衣室を広く
洗面台は2つ、住人専用とイヌ専用の収納ボックスを人数分用意
- 対面式キッチンに変更
- 廊下とキッチンの壁を無くしリビングダイニングに。
- 犬の散歩から帰ってきて玄関で足を洗ってから入れるようにタイル式の床玄関ホール



2階平面図

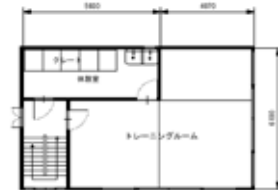
- 3部屋とも洋室にし、クローゼットをリノベーション前より大きく。
- 部屋数を増やすことも考えたが、犬を飼うので犬用ケージを置くことも想定し3部屋のまま使用することにした。

イヌ用施設をつくる

祖父母に隣接している駐車場部分にイヌ用施設（幼稚園・芝生の小規模ドッグラン・プール）を作る。近くにあるペット専門学校の学生が授業の一環として取り組む目的でいろいろと設え、間取りを考えた。ドッグホテルのイヌを管理しやすくするため、シェアハウスのドッグホテル部分とイヌ用施設をバルコニーを使い、行き来可能にした。



1階平面図



2階平面図



アウトドア好きの家族の住宅提案

原 絵里奈

将来住みたい住宅を考えた時、子供と一緒に遊べるような楽しい住宅に住みたいと考え、自分の将来設計を踏まえてアウトドア好き家族の住宅提案を考えました。アウトドアを通して健康的な身体作り、みんなで楽しむ事によって家族の仲をより深めるような空間にしました。



家族構成

夫婦 2人 子供 3人

妻 36歳 夫 38歳

長男 12歳 次男 9歳 三男 6歳

趣味

釣り（海釣り）、BBQ、ボルダリング、ゴルフ etc

建築概要

場所	兵庫県芦屋市涼風町
敷地面積	381 m ²
建築面積	124 m ²
1Fの床面積	111 m ²
2Fの床面積	98 m ²
建ぺい率	33%
容積率	55%



2F 平面図

2 階提案内容

- ・階段を上がって右手にベランダを設置し、バタールゴルフができるようにしました。
- ・子供たちに各部屋を与え、プライバシーを確保しています。
- ・T字のベランダをつくり、子供部屋 A、B から出られるようにしました。
- ・吹き抜けになっていてポールで上り下りができます。
廊下に本棚を設置し、椅子を置いて子供たちが本を読める空間を作りました。
- ・夫婦の寝室を広くし、ウォークインクローゼットをつくりました。



1F 平面図兼敷地図

1 階提案内容

- ・ポールを立て2階に上がり下りができるようにしました。
- ・ボルダリングの隣にアウトドアリビングを作りハンモックや椅子や机を置き疲れをとるための癒しの空間にしました。
- ・玄関の隣に大きめの収納スペースをつくり車に積んでいた趣味の道具などをすぐに収納できるようにしました。
入って右手に吹き抜けの空間をつくり壁をボルダリングにしました。
- ・庭にはプールをつくり、バスケットゴールを設置しました。
- ・玄関から台所が見えないように壁にし、収納スペースをつくりました。
- ・お風呂は広めに設計し、窓から外の木が見えるようにしました。
- ・BBQ などする際にリビングの扉を開けるとウッドデッキとつながり出入りがしやすくなるように考えました。
- ・家族団らんの場合であるリビング・ダイニングを広くとりました。

空間イメージの参考画像



ボルダリング



ハンモック



バルコニー



プール



バタールゴルフ

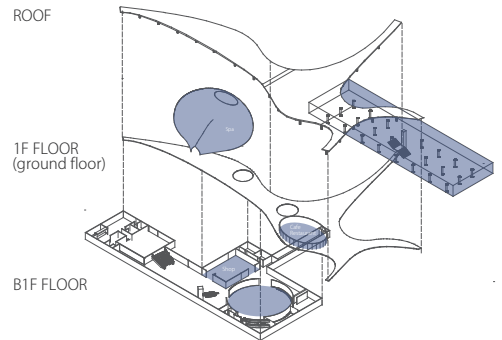


金沢市民芸術村 LODGING FACILITY

—多雨地域における雨と共生する公共空間—

小林 祐希

雨の日は気分が沈み、外出したくない人が多く、観光地では客足が減少する。そこで雨の日だからこそ行きたくくなるような、雨の魅力を十分に生かした施設を多雨地域である金沢に構想した。私は雨を楽しむには「リラックスする」、「休む」ことが重要であると考え、ゆっくりと休みながら雨を楽しむ宿泊施設を設計することにした。古いレンガ造建築群を改修した金沢市民芸術村の敷地内に、温浴施設・レストラン・宿泊施設等を計画。市民と観光客とのコミュニケーションの場とした。





コンシェルジュ



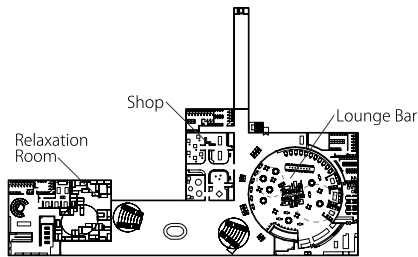
グランドレベル



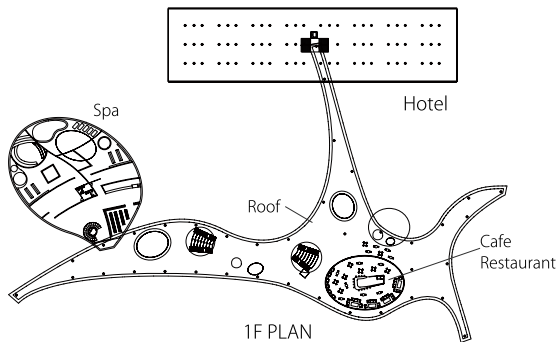
レインショップ



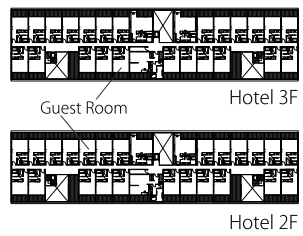
ミストサウナ (水琴窟)

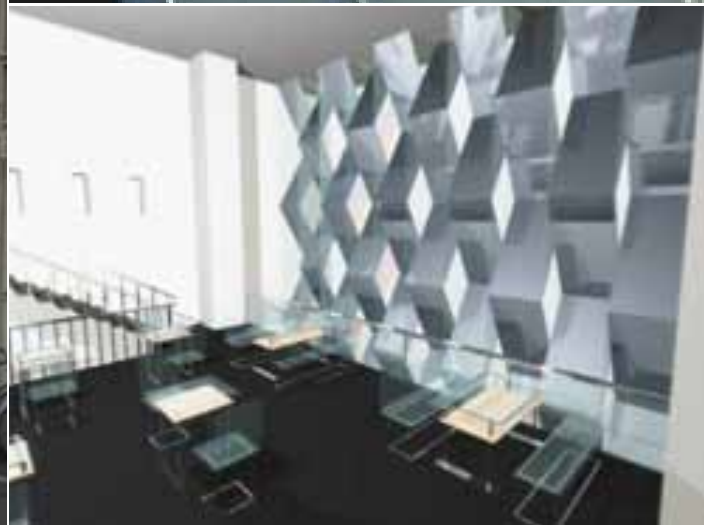
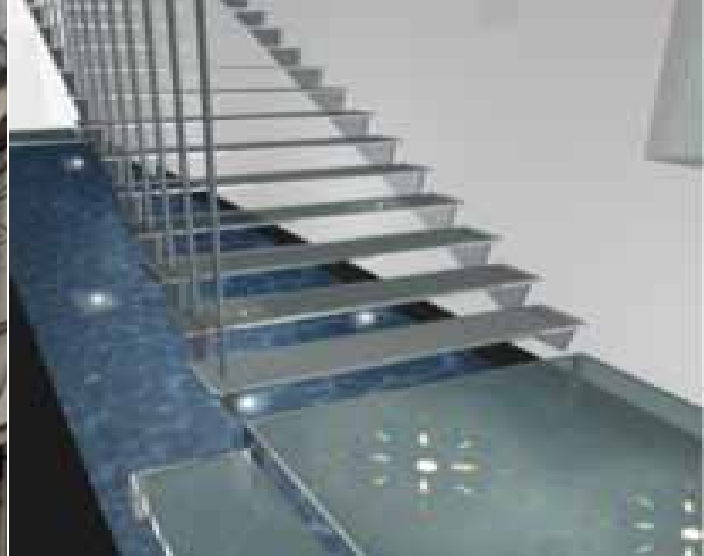


B1F PLAN



1F PLAN



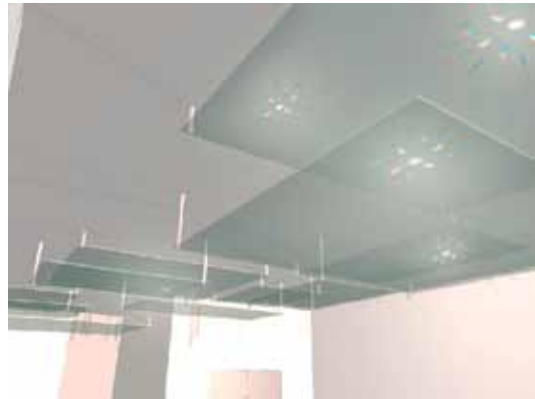


スペクトリズム —プリズム効果を使った空間表現を考える— 吉岡 沙映

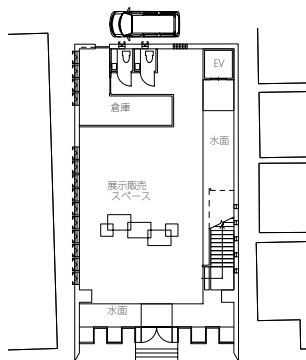
「光に包まれる」をテーマに、回折格子シートを用いた分光により、7色のスペクトルを体感できる商業ビルを計画した。7色の光には人を引き付ける魅力・神秘性・貴重性を持ち合わせていると考える。今回計画した光の空間は一つの大きなアート作品に入り込んだような体験をすることができる。計画場所は元町駅海側の乙仲通沿いとし、通りを行く歩行者からも光のスペクトルをみることができ、通りに活気をもたらすきっかけとなり、乙仲通りのシンボルの存在になるよう計画した。



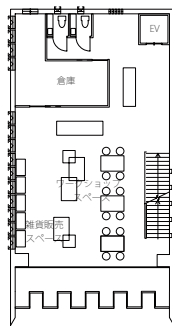
回折格子シートを重ねる枚数でスペクトルが見られる



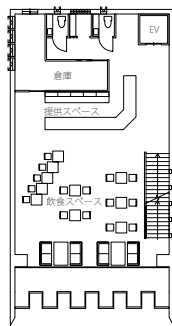
1階は光学をつかったインテリアを中心に展示販売をおこなっている店舗。入口から回折格子シートを貼った階段下まで水を張ることで幻想的な雰囲気をつくっている。2階は光を楽しむサンキャッチャーや回折格子シートなどの光学雑貨・素材を販売する店舗とワークショップスペース。3階は光のスペクトルを楽しむカフェ。ファサードから射した光が窓で分光し七色の光に包まれる空間となる。光が時間とともに変化するため時間の移ろいを感じられる。



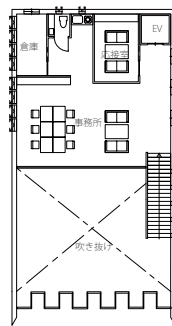
1F インテリア展示販売



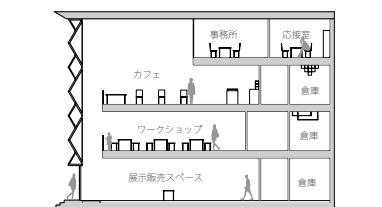
2F 光学雑貨販売・ワークショップスペース



3F カフェ



4F 事務所



断面図

0 1 3 6 10 (m)



和歌山の古民家改修 一地域再生のための拠点づくり 南 奈緒

私の実家は昭和初期に建てられ、築80年以上経過している。私が生まれる前から時代に合わせて改築を重ねてきたようで、元の姿を知らないが、それによって本来の家の良さが失われているように思う。以前呉服屋を営んでいた店舗部分と住居部分の両方を、古民家のポテンシャルを活かしつつ現代の暮らしに合う家にすることを目指した。日当たりの良い、家族が自然と集まるような場所を作り、また将来、私が建築士になることを想定し、空家や古い住宅を再生させ、まちおこしの拠点となるような、設計事務所を併用させた改修計画とした。



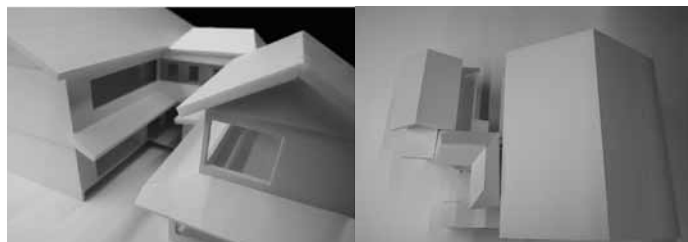
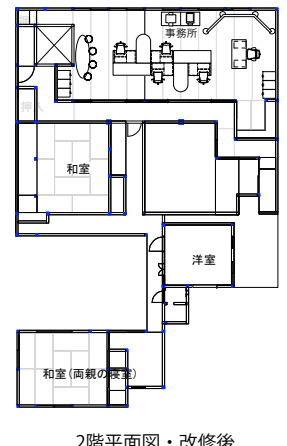
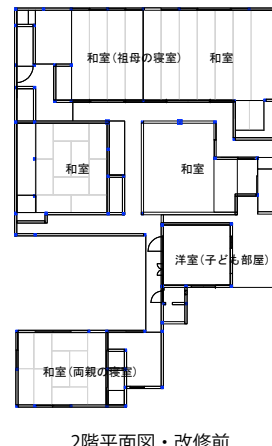
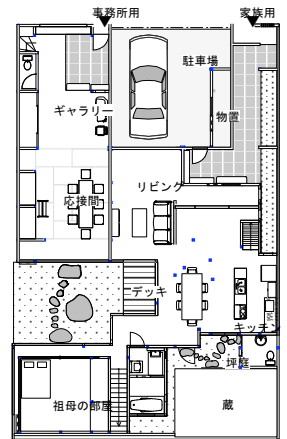
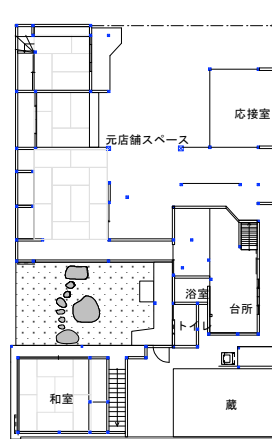
外観の現況



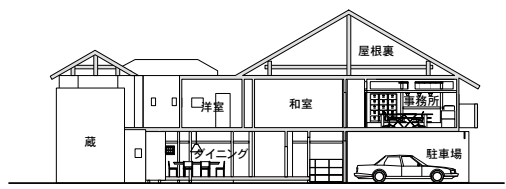
中庭の現況

なんべい 設計事務所

■各階平面図(改修前・後)



模型写真





素夢子の外観と店内（左・中共）

素夢子のウィンドウトリートメント

—韓国伝統茶屋の窓辺—

木下 智絵

京都にある韓国伝統茶屋「素夢子」では、インテリアに韓国伝統のポジャギや韓紙が使われ、全体として韓国の古民家のような雰囲気が出されている。私はこの店で働く中で、そのような空間に興味を持ち、また店で時折行われるポジャギ展等で様々な作品を見るうちに、その綺麗さに魅了された。それらを参考に、独自のものを作ってみたいと思い、店内で必要だと思う場所—入口横のガラス面で、室外のテラス席と室内の席の視線を遮りながら雰囲気を演出する—ための作品を制作した。



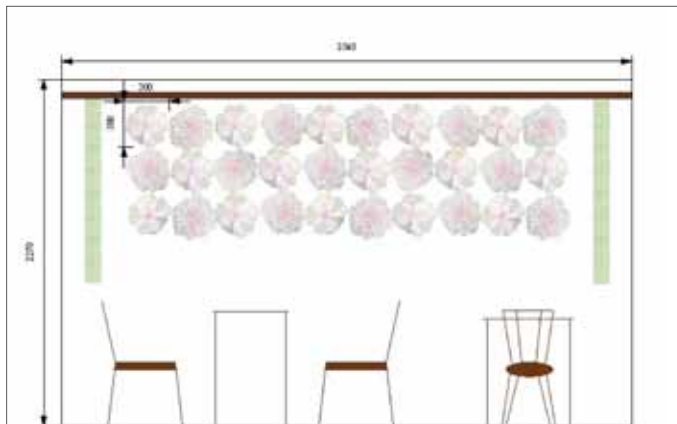
作品研究のため韓国に行き、人気作家の作品が展示されているGALLERY チョンイナムも見学した。制作材料も韓国で購入。ポジャギによく使われる麻布と韓紙を数種類選び、組み合わせて使った（右）



設置場所

三条通に面した入口横の大きなガラス面。外側はテラス席、内側にもテーブル席があり、通りからの見え方や内外の客同士の視線が気になったので、それを改善するために、この作品を設置した。モチーフは、韓国の国花であるムクゲをイメージし、内外のどちらからも楽しめるようにした。

両替町通
素夢子の平面図



初期の展開図



素材の麻布と韓紙



麻布とワイヤー
によるムクゲ



韓紙とワイヤー
によるムクゲ

BEFORE



設置前の状況 (店内側)

AFTER



設置後の状況 (店内側)



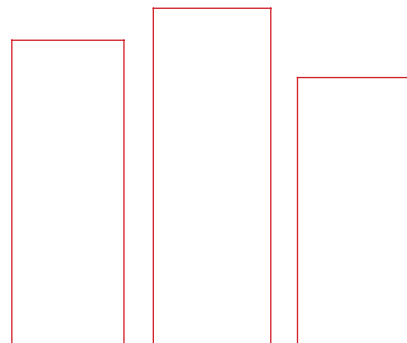
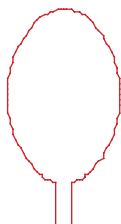
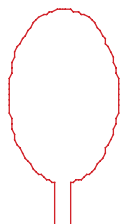
テラス席側

Projects

プロジェクト作品

神戸ビエンナーレ 2015
乙仲通界限デザインワークショップ
ECO デザインコンペ
マンションリノベプロジェクト
ハウジングデザイン展

コンペに応募し、入賞したプロジェクトや、
学外・課外のプロジェクトに、有志の学生たちが
参加し、取り組んだ作品をご紹介します。

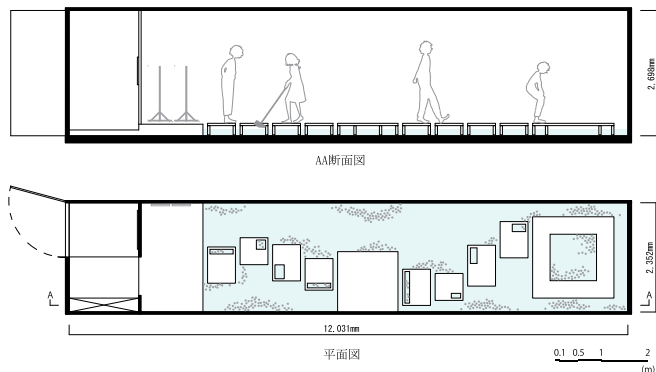




水路ノユメ

吉岡 沙映 + 鈴木 亮太

「水路ノユメ」は、神戸ビエンナーレ 2015 のコンペティション部門の一つであるアートインコンテナ国際コンペティションの公募に入选し、実施制作したインスタレーション作品です。この作品は、小さなミラーボールとアルミ箔で作られた球の反射光を通して回折格子シートが生み出す幻想的な世界を体験することができるインスタレーションです。コンテナ内の飛び石を越えることに開口部のシート枚数が変わり、様々な分光現象が現れます。また、空間は水路をモチーフとしています。水路は神戸の日常を構成する風景の一つであり、東遊園地という場所にも水路や噴水、水盤などのモニュメントが多数あります。光のインスタレーションとして計画されたのは、東遊園地が神戸ルミナリエの最終地点であることを意識しています。





企画段階のスタディ模型

学生スタッフ衣装

「水路ノユメ」のコンセプトをもとに、同学科ファッション領域教員の井上先生に制作してもらった。

事前調査

作品のコンセプトを立案する段階で神戸を街歩きし、神戸の魅力的な風景を調査した。幻想的な水路のイメージはここから生まれた。



神戸ルミナリエ（東遊園地）



水盤（東遊園地）



都賀川（神戸市灘区）



コンテナ内の状況を事前チェック

制作風景

作品制作には学科を超えて多くの大学関係者が協力してくれた。特に、ハウジング領域の学生は現地での作業を積極的に手伝ってもらった。また、展示期間中もスタッフとして常に作品を見守ってくれた。



コンテナを塗装している様子



飛び石を塗装している様子



ミラーボールの制作ワークショップ



回折格子シートを切っている様子



飛び石の大きさを調整している様子



回折格子シートを用いた万華鏡制作



乙仲通界限デザインワークショップへの参加

ファッション・ハウジングデザイン学科では、2012年度以降、研究テーマとして、神戸・元町の海側にある「乙仲通界限」という魅力的なエリアに着目し、多くの学生たちがこの研究活動に参加してきました。これまでも地域の方々へのインタビューや街空間についての調査を行ない、乙仲通界限の様々な魅力と課題について考え、具体的な空間提案を行なってきました。「ハウジングデザイン作品集 vol.2」では、これまでの取り組みと5つの空間提案作品をご紹介します。

2015年度からは、このような神戸松蔭の取り組みに賛同していただいた、JIA（日本建築家協会）兵庫地域会の建築家や地元組織のみなさんと連携し、多くの他大学

学生たちも参加するまちづくり支援活動へと発展しました。

2015年10月から2016年3月までに、JIA兵庫地域会主催の「乙仲通界限デザインワークショップ・乙仲さんぽ」が、5回にわたって開催され、9大学・学校の学生たちが参加。本学からも多くの学生と教員が参加しました。乙仲通界限の魅力と課題に関して、5つのテーマを抽出、グループ別によりサーチ、分析しました。その成果は、冊子にまとめられ、また神戸新聞でも、このような取り組みが紹介されました。2016年度以降も、ワークショップは継続され、より具体的な空間提案をまとめるなど、活動は一層発展、充実してきています。

- 第1回 2015.10.31 まちあるき
- 第2回 2015.10.31 テーマ設定・グループ分け
- 第3回 2015.12.22 グループワーク①
- 第4回 2016.1.16 グループワーク②
- 第5回 2016.3.11 成果発表会

グループ別テーマ

- グループ1 乙仲の魅力発掘・発信
- グループ2 共用空間のあり方
- グループ3 乙仲立て看板ストリート
- グループ4 街路の安全と快適性を考える
- グループ5 既存建物の利活用



ワークショップの成果をまとめた冊子

16年(平成28年)3月20日 日曜日 14版 社 会 30

兵庫で、生きる

第6部「ハイカラの遺伝子～三宮・元町から」

●乙仲通● 学生発「レトロ」再発見

「ハイカラの遺伝子」が、三宮・元町から、乙仲通へ。ハイカラの遺伝子が、乙仲通に受け継がれている。学生発「レトロ」再発見。乙仲通の魅力を発信しよう。乙仲通の魅力を発信しよう。乙仲通の魅力を発信しよう。

「ハイカラの遺伝子」が、三宮・元町から、乙仲通へ。ハイカラの遺伝子が、乙仲通に受け継がれている。学生発「レトロ」再発見。乙仲通の魅力を発信しよう。乙仲通の魅力を発信しよう。乙仲通の魅力を発信しよう。

「ハイカラの遺伝子」が、三宮・元町から、乙仲通へ。ハイカラの遺伝子が、乙仲通に受け継がれている。学生発「レトロ」再発見。乙仲通の魅力を発信しよう。乙仲通の魅力を発信しよう。乙仲通の魅力を発信しよう。

神戸新聞 2016年3月20日 朝刊より転載



住空間 eco デザインコンペティション 入賞

「RainHoop」 小林 柚希+山田 幸奈

「住空間 eco デザインコンペティション -Real Size Thinking-」は、日本の住生活に対する問題意識を高め、今後の住空間のあり方を探り、その質をより良いものとするを目的とするデザインコンペで、建築・環境・デザイン系の様々な大学や大学院、専門学校の学生たちが参加して行なわれます。2015年度のコンペに、本学4回生の小林柚希さんと3回生の山田 幸奈さんが協力して「RainHoop」という作品を制作応募し、審査員特別賞として「芦澤竜一賞」を受賞しました。

このコンペの特色は6～8月の各月ごとにプレゼンを行い作品をブラッシュアップしていくワークショップ型であり、2次審査会では公開審査も行われました。

ハイレベルな大学院生の応募も多い中、小林さんらは初めてのコンペの応募でしたが、よく健闘しました。他校の学生たちとともに、何度もプレゼンテーションや建築家らによる厳しい講評を経験し、良い結果を残せたことは、非常に有意義であったと思います。



「RainHoop」コンセプト

雨になると憂鬱になり「家から一歩も出たくない」という人が多くいます。しかし「雨が降っているから」という理由で家にもってしてしまうのは勿体ないと思います。

そこで私たちは、“自然と共生する仕掛け”をキーワードに屋外の公共空間でのしよを目的とした雨だからこそ楽しむことのできる仕掛けを考えました。

臼井を視覚化する仕掛けとして日本では鎖樋（くさりどい）が使われています。鎖樋は屋根から鎖樋に導かれた雨水が鎖を伝うように排出されるのを目で見て楽しむ仕掛けであり、日本の雨の日の情緒を表現するものとして古くから寺社仏閣や和建築に利用されてきました。また降水時の風や雨の動きに着目し、聴覚的にも楽し

める仕掛けとして風鈴を参考にしました。風鈴は、夏に家の軒下などに吊り下げて用いられる小型の鐘鈴で、風によって音が鳴る仕組みになっています。冷房のなかった時代に日本の湿気が多い暑い夏をやり過ごすため、風鈴の音を聞くことに涼しの風情を感じてきたといわれています。

この鎖樋と風鈴からヒントを得て、「RainHoop」という仕掛けを作りました。「RainHoop」は現代的な建築（ミュージアムやレストランなどの）公共施設に取り入れることができ、全体的な空間を演出します。
(小林 祐希)



203/ 赤ちゃんのいる暮らし 太田ともえ



203/ 高齢夫婦の間 立石真唯



207/ 単身赴任の一人暮らし 仙田瑞月

マンション・リノベーションプロジェクト

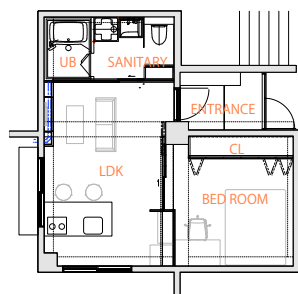
太田ともえ、立石真唯、仙田瑞月、山田幸奈、吉田朋可

昨年、本学の卒業生で茨木市に建つ築約40年の賃貸マンションのオーナーから、ハウジング領域の学生に、リノベーション提案をしてもらいたいという申し出がありました。そこで、そのマンションの2住戸について、米原ゼミの3回生5名がリノベーション提案に取り組みました。実際に提案に基づき改修工事を行なう前提で、既存の住戸の調査、実測およびオーナーへのヒアリングから始めて、設備機器や仕上げ材の選択も含め、全員で各住戸の改修案を検討し、話し合っ、さまざまな入

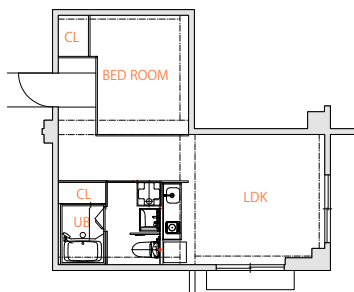
居者のライフスタイルに対応しうる改修プランを作成しました。さらに同じ改修プランでも、ライフスタイルに応じた異なる住まい方を想定して、インテリアコーディネート提案を作成。住戸床面積は約38㎡ですので、入居者像として、単身赴任の男性や留学生といった一人暮らし、高齢夫婦や若い姉妹がシェアする2人暮らし、それに若い夫婦と赤ちゃんの3人暮らしといったライフスタイルを想定し、それぞれの生活を美しく快適にするようなインテリア・コーディネート提案しました。



207/ Shared room for Sisters Plan 山田幸奈



203号室 改修 PLAN



207号室 改修 PLAN



207/ 留学生の部屋 吉田朋可



展示会場風景



乙仲通界線の敷地模型



住環境 eco デザインコンペティション
2015 に入選した学生作品の紹介



神戸ビエンナーレ 2015 入選作品「水路ノユメ」一部再現展示

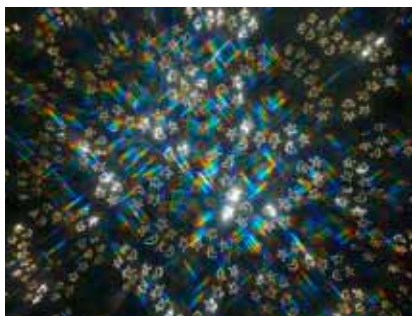


ハウジングデザイン展 ワークショップ・プロジェクト ハウジングデザイン実行委員会

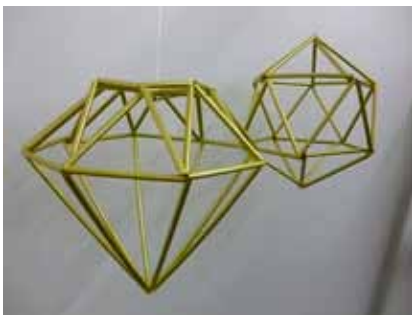
ファッション・ハウジングデザイン学科では、毎年 11 月の大学祭において『ハウジングデザイン展』を開催しています。展示内容は、主に演習授業の設計課題や課外活動、そして学びをいかしたワークショップです。今年は課外活動として「乙仲通プロジェクト」や「神戸ビエンナーレ 2015 入選作品」、「住環境 eco デザインコンペティション 2015 入選作品」の展示、ワークショップとしては「ワールドアーキテクチャ」や「SHOIN もびーる」、「万華鏡制作」をおこないました。例年と比べて盛りだくさんの内容となりました。



ワールドアーキテクチャ。ペーパークラフトで歴史的建造物を作った。その土台は、釘と紐を使って世界地図を表現している。



万華鏡制作 (中から覗いた様子)。



SHOIN もびーる



ワークショップ風景

作業風景



ワークショップで何をするか検討している様子



ポスター・チラシデザインのアイデア出し



ワールドアーキテクチャ制作風景

ハウジングデザインの学び

カリキュラム／授業・活動風景

ハウジングデザインは、私たちの住まいや身近な生活空間のよりよいあり方を考える分野です。家具、照明などのインテリアエレメントから、様々な住空間、スケールの大きなまちづくりまで、幅広く学びます。

カリキュラムはインテリア・住居・まちづくりの3分野に、共通のベースとなる建築基礎を加えた4つの科目群で構成されます。それぞれに講義科目、演習科目、実習科目が設けられ、総合的にハウジングデザインを学ぶことができます。講義科目では、住居学、建築学の様々な知識を学び、演習科目では、文献や雑誌を読んだり、建築見学や街歩きなどの体験レポート、企画書作成等に取り組みます。実習科目では、様々な課

題の作品制作に取り組み、手描きやCADによる製図、模型、パースなどにより、イメージした空間を表現します。そして出来上がった作品は、みんなの前で発表し、トータルなプレゼンテーション力を養います。

3年以降は、いずれかのゼミに所属し、各自の興味あるテーマに取り組み、卒業研究として作品または論文にまとめます。インターンシップでは、建築実務の現場を体験。また二級建築士やインテリアコーディネーター等の資格取得を目指す人をサポートしています。2013年度入学生（6期生）以降は、カリキュラム改編により、インテリア系科目や実習科目をさらに充実させ、作品のレベルアップをはかっています。



少人数のクラスで、CADなど丁寧な実習指導を受けます



課外活動では、みんなで企画を考えます



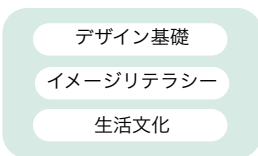
ゼミ旅行で京都の町家に宿泊しました



芦屋のマンションを見学

カリキュラムの流れ

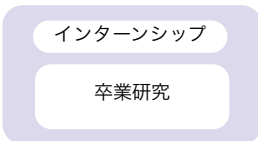
基礎段階
1～2年次
(共通領域)



展開段階
2～3年次
(ハウジング
デザイン領域)



統合段階
3～4年次



開講科目 (2015年度ハウジング領域・共通領域専門科目)

ハウジングデザイン概論
まちづくり論
ヒトとデザイン
生活文化概論
ライフスタイル論
デザインの仕事
阪神デザイン論

FHD 基礎演習 A・B

イメージリテラシー入門
イメージリテラシーⅠ・Ⅱ
Ⅰ/生活アート実習
Ⅱ/デザインスキル実習

ハウジングデザインⅠ
ハウジングデザインⅡ

生活防災学
住宅再生論
生活エコロジー
家族社会学
インテリアエレメント論
インテリアスペース論
ガーデニング論

建築計画学
景観論
住文化論
住居史
建築一般構造
構造力学
建築材料学
建築施工学
建築関連法規
室内環境論
生活福祉学

イメージリテラシーⅢ・Ⅳ
Ⅲ/イメージリサーチ演習
Ⅳ/カラーコーディネート演習

ハウジングデザイン実習ⅠA・ⅠB
ハウジングデザイン実習ⅡA・ⅡB
ハウジングデザイン実習ⅢA・ⅢB
インテリアコーディネート演習

ハウジングインターンシップ
デザイン特別演習(プレゼミ)
卒業研究(ゼミ)



インテリアを彩るさまざまな作品も制作します



期末には、実習授業の発表講評会を行います



設計した作品をプレゼンテーション



みんなで協力して神戸ビエンナーレに出展する作品づくり



米原ゼミ集合！



教室にて



学外研修でインテリアショップへ



マンションリノベプロジェクトでの現場実測



芦屋の旧山邑邸を見学



住宅再生論の学外研修で震災復興住宅を見学



卒業研究展。展示と発表を行いました

公式ブログにて学科の情報も発信しています。

こちら是非、ご覧ください。

<http://kobe-shoin.cocolog-nifty.com/fhd/>



卒業生紹介

2013-15 卒業生インタビュー

神戸松蔭のファッション・ハウジングデザイン学科でハウジングデザイン領域を専修した卒業生たちは、大学での学びを活かして多方面で活躍しています。

今回、2期生から4期生までの卒業生のうち、5人の方に、近況や大学在学中のことについて、お話を聞きました。



不動産会社勤務をへて、現在子育て中

私は元々ファッション志望で入学しましたが、2年次からハウジング領域に切り替えました。実習課題や卒業制作など、よく締切に追われていましたが、毎日自分の学びたい事の為に大学に通っているということが、とても楽しく充実した日々だったなあと思います。卒業後は料理教室の営業として働きましたが、在学中に宅地建物取引主任者の資格を取得していたことから、不動産会社に転職し、管理部門で働きました。現在は、出産を機に仕事を退職し、子育てに追われる日々ですが、松蔭で知った学ぶことの楽しさを忘れず、また新たにチャレンジしていきたいと思っています。



株式会社 大林組 勤務

4月より大阪本店を離れ、淀屋橋にある主にリニューアル工事を行う現場事務所に在籍しています。契約業務・経理関係・近隣対応・設計データの精査など、ただ建築物を建てるだけでなく、施主の方や協力業者の方々まで、モノが人の手を渡っていく橋渡しの業務を行っております。ハウジング領域の実習では、想定用地の周りの環境までもを考えた実践的なものだったため、現在業務を行う上でも、その際に培った考え方が非常に役立っております。現在は、二級建築士の二次試験合格に向けて、休日も返上して勉強しておりますが、充実した毎日を過ごしております。



株式会社ディレクト 勤務

私は今、店舗の施工会社で、商業施設などの積算や家具・什器の制作図面などを描いています。制作図は元のデザインを崩さずいかに上手く制作できる図面にするか考えるのがとても楽しいですが、小さなミスもないように、きっちりとした図面にしなければいけないので、先輩に最終チェックをしてもらいつつ業者さんへ提出したりしています。少しずつ任せてもらえる仕事が増えてきて充実感のある毎日を送っています。大学では卒業研究で乙仲通のテナントビルを制作したのですが、自分が店舗を建てるとしたらと考えたことは今の仕事にプラスになっています。



和田興産株式会社 勤務

神戸・明石・阪神間を中心に、「ワコーレ」のブランド名で分譲マンションや賃貸・戸建等の企画・開発を行っています。その中で私は分譲マンションのパンフレット図面集のチェックや竣工物件の検査等の仕事を主にしています。細かい作業も多いですが、一生に一度の買い物をされるお客様により良いものを、と心がけて仕事をしています。在学中は建築からインテリアまで幅広く学び、卒業制作では先生のアドバイスのおかげもあり納得行くものを制作することが出来ました。また、ゼミ旅行に行ったりと、とても充実した学生生活を送る事が出来ました。



株式会社 橋本工務店 勤務

私は今、工務店で働いています。具体的には大工による在来工法で家を建てる工務店です。この技術を活かしリフォームや改築なども行います。私の主な仕事はお客様の所へ伺いヒアリングし、図面に起こしたり見積を作成します。お客様からOKができれば業者、大工へ橋渡しをして、工程を組んでその工事の監理を行うという流れです。会社ではCADを使用していますが、大学時代に学んでいたので仕事をやる上で役に立っています。会社の皆さんに支えられて自分なりに頑張っています。二級建築士を取得し、この仕事に活かしたいと思っています。

教員紹介

ハウジングデザイン領域

ハウジングデザイン領域の担当教員は、多彩な顔ぶれにより構成されています。基礎演習や卒業研究は、3人の専任教員が担当。その他の講義・演習や実習授業では、実務の現場で活躍している建築家や各方面の専門家の講師陣も多数担当。実践的で役に立つ授業を行い、実習助手もきめ細やかにサポートしています。

専任教員

中林 浩	教授	京都大学大学院工学研究科博士課程建築学専攻修了博士（工学） 専門分野：都市計画学、まちづくり
増永 理彦	教授	京都大学大学院工学研究科修士課程建築学専攻修了博士（学術／大阪市立大学） 専門分野：高齢者居住、マンション再生など住居全般
米原 慶子	准教授	大阪市立大学生活科学部住居学科卒業 ケイズアーキテクト・夙川アトリエ主宰 専門分野：建築設計学、インテリアデザイン

非常勤講師（2015年度）

中村 博明	中村博明建築設計事務所 主宰	加茂 みどり	大阪ガスエネルギー文化研究所 勤務	鈴木 亮太	筑波大学大学院博士前期課程 芸術専攻建築デザイン領域修了
十亀 啓	インテリアデザイナー	清水 光次	清水計画室 代表		
永村 悦子	園田学園女子大学准教授	高坂 憲治	地域計画建築研究所大阪事務所 勤務		
矢代 恵	MEG 建築設計事務所 主宰	川嶋 守彦	アーティスト		
長瀬 りか	RH+計画研究室 主宰	蔵田 優美	京都工芸繊維大学大学院後期博士課程		
川瀬 琢己	一級建築士事務所ユニットワン 主宰	荒谷 省午	荒谷省午建築研究所 主宰		
吉田 文男	一級建築士事務所アトリエフォルム 主宰	村上 隆行	eu 建築設計 主宰		
井上 晋一	井上晋一建築研究所 主宰	守屋 宣章	株式会社 TAK エンジニアリング 勤務		
植田 道則	株式会社 竹中工務店 設計部 勤務	小山 明子	akka 一級建築士事務所		
笠原 一人	京都工芸繊維大学工芸科学研究科 助教				

実習助手



Housing Design

ハウジングデザイン作品集 vol.3

神戸松蔭女子学院大学 人間科学部
ファッション・ハウジングデザイン学科

発行日 / 2016年11月1日

発行元 / 神戸松蔭女子学院大学 人間科学部

ファッション・ハウジングデザイン学科

〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1

表・裏表紙絵 / 森 瑠那

編集・デザイン / 米原慶子・鈴木亮太